

【島のくらしの情報】

三宅島

<p>①仕事（収入）の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・島の産業別就業人口は、観光業を中心とした第3次産業（H22国勢調査）が約70%を占めています。</li> <li>・島で働く看護師、保育士、村役場職員（一般行政職）、介護員、消防士のほか、漁業協同組合職員、土木・建築業、商店、飲食関係のスタッフなども募集しています。</li> </ul>
<p>②住居の状況（貸家、空き家など）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・島内には39棟219戸の村営住宅（平成28年4月1日現在）があります。</li> <li>・空き家情報：（株）音丸建設不動産事業部（☎04994-8-5650） 七島不動産（☎04994-8-5931）</li> </ul>
<p>③医療環境の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・島内には診療所が1か所あり、常勤医3名体制で住民の健康を守っているほか、歯科診療所が1か所あります。</li> <li>・急患は、緊急ヘリで本土の総合病院へ搬送されます。</li> <li>●お問い合わせ：三宅村中央診療所 電話04994-2-0016</li> </ul>
<p>④福祉環境の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別養護老人ホームが1か所あり、デイサービスやショートステイなどのサービスも提供しています。</li> </ul>
<p>⑤教育環境の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三宅村立小学校(児童数78名)及び中学校(生徒数28名)があるほか、都立三宅高校(生徒数37名)があります。</li> </ul>
<p>⑥上下水道・電気・ガスの状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三宅村簡易水道が整備されています。</li> <li>・生活排水は、合併浄化槽による処理が行われ、村から設置補助があります。</li> <li>・ガスはプロパンガスです。</li> <li>・電気は、島内にある東京電力三宅島火力発電所からの電気を利用しています。</li> </ul>
<p>⑦本土との交通手段（費用、時間、便数など）</p>	<p>【船の利用】 東京竹芝桟橋より22：30発 東海汽船「橘丸」で6時間30分、明朝5：00三宅島到着</p> <p>【飛行機の利用】 新中央航空 調布空港 ⇄ 三宅島空港 約50分 1日3便就航</p> <p>【ヘリコプター】 東邦航空 東京愛らんどシャトル</p> <p>御蔵島発 10：55 ⇒ 三宅島着 11：05 三宅島発 11：10 ⇒ 大島着 11：30</p> <p>大島発 14：55 ⇒ 三宅島着 15：15 三宅島発 15：20 ⇒ 御蔵島着 15：30</p>

⑧島内の交通手段（費用、便数など）	<p>【島内交通】村営バス：島内を時計回り、反時計回りに、それぞれ5便/日。  ※このほか、タクシー会社が複数あります。</p>
⑨買い物場所・物価の状況	<p>【買い物場所】  島内各集落ごとにスーパー・商店がありますが、コンビニはありません。  【物価例】・ガソリン 175円/L（レギュラー/2017.8月現在）  ※野菜は自家用畑で栽培している方も多くいます。近所の方と仲良くなると、野菜や魚などのおすそ分けも多くなります。</p>
⑩これまでの移住実績	<p>島コンツアーでは多くのカップルが成立し、移住した方もいます。  三宅村島暮らし体験事業参加者（過去2回の参加者計7名内3名が移住）</p>
⑪移住を希望される方の短期滞在、下見に対する支援の状況	<p>三宅村島暮らし体験事業の実施</p>
⑫移住にあたっての支援の状況	<p>具体的な支援体制はまだ整備されていません。</p>
⑬そのほか島での暮らしぶりについて伝えておくべき必要な情報	